

事務事業評価シート

No.	事務事業名	所管部課
15	都市間交流事業	生活文化スポーツ部文化振興課

事務事業の概要	事務事業の目的		根拠法令等	
	姉妹都市・友好都市との友好的かつ互恵的な関係を築き、連携を図ることを目的として交流事業を実施する。また、施設利用助成においては、姉妹都市・友好都市との文化交流の促進と市民の健康及びレクリエーションの振興を図ることを目的とする。		<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領	
	事業の概要		見直しの経過	
	【都市間交流事業】 平成29年度は北杜市と連携し、両市の子どもを対象とした遺跡発掘体験事業を試行的に実施。平成30年度は勝浦市との交流事業を実施予定。 【施設利用助成】 福島県南会津郡下郷町、千葉県勝浦市、山梨県北杜市の旅館・民宿等の契約施設を市民が宿泊で利用する際に助成金として交付する。 <1泊あたりの助成金額> 【旅館】大人1,500円／小人1,200円 【民宿】大人1,200円／小人1,000円 ※平成30年度をもって廃止。		【見直しの経過】 ・施設利用助成については、平成26年度の事務事業評価において「抜本的見直し」の評価を受けている。 ・以降、姉妹都市・友好都市担当者との協議を行い相互互恵関係の構築に向け都市間交流事業のあり方について検討を行ってきている。 ・施設利用助成については、毎年度実績を踏まえ、予算を縮小してきたところであるが、利用実績や事業効果を踏まえ、平成30年度をもって廃止することとした。	
事業開始時期	平成14年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()	

事業費データ	項目	単位	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)			964	468	734
財源内訳	国庫支出金・都支出金	千円				
	地方債					
	その他 ()					
	一般財源		964	468	734	391
所要人員(B)	人	0.39	0.39	0.39	0.39	
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	2,981	2,909	2,988	3,088	
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0	
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	3,945	3,377	3,722	3,479	
単位当たりコスト (E)=(D)/ (施設利用助成年間延べ人数)	千円	7	10	11	-	

評価指標	指標名	単位	27年度	28年度	29年度	30年度
	施設利用助成年間延べ人数	実績値	人	541	331	336
	実績値					
《指標とした数値変化に対する要因分析など》 平成23年の東日本大震災以降利用者数は減少、平成26年度に一時回復したが、以降、減少傾向が続いている。						

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	都市間の相互互恵関係の構築に向け、各市町及び観光協会等との協議を実施している。その中で、施設利用助成制度については互恵性に課題があることから今後の制度維持が困難であることを説明し、一定の理解を得ている。また、市民同士の相互交流事業の促進についても前向きな意見を得ている。				
	他団体のサービス水準との比較 (平均値との比較、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	平成29年度に小金井市が実施した26市調査では、26市中、交流キャンプやスポーツ交流事業、学生対象の交流事業等を実施している市が少なくとも9市あり、その他の交流事業も含めると多くの市で交流事業を実施しているものと思われる。			
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				

【一次評価】

検証項目	判定	判定理由
事業の優先度(緊急性)	普通	引き続き、姉妹都市・友好都市との連携を図っていくことが望ましい。
事業の必要性	普通	引き続き、姉妹都市・友好都市と友好な関係を構築していく必要がある。
実施主体の妥当性	適正	市が主体となって実施すべき事業と考える。
事業(補助)の対象	課題有	互恵性に課題のある施設利用助成制度は平成30年度をもって廃止する。
事業(補助)の内容	課題有	互いの地域資源を生かし、継続的な交流や活性化に繋げていく必要がある。
受益者負担	課題有	交流事業における受益者負担等について検討する必要がある。
事業コスト	普通	試行実施している交流事業については標準的なコストである。
業務負担	普通	規模に見合った業務量である。
一次評価	今後の実施に向けた方向性	
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	継続的な都市間交流事業の実施に向けて、現在、試行的に実施している交流事業の検証を踏まえ、姉妹都市・友好都市3市町との検討を進めていく。また、施設利用助成については平成30年度をもって終了とする。	

【二次評価】

検証項目	判定	判定理由
事業の優先度(緊急性)	普通	引き続き、姉妹都市・友好都市との連携を図っていくことが望ましい。
事業の必要性	普通	引き続き、姉妹都市・友好都市と友好な関係を構築していく必要がある。
実施主体の妥当性	適正	市が主体となって実施すべき事業と考える。
事業(補助)の対象	課題有	広く市民を対象とした事業となるよう、見直しを図る必要がある。
事業(補助)の内容	課題有	姉妹・友好都市との相互の繋がりが深まる事業とする必要がある。
受益者負担	課題有	適正な受益者負担について検討していく必要がある。
事業コスト	普通	今後の実施コストについても十分検討する必要がある。
業務負担	普通	規模に見合った業務量である。
二次評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題、今後改善すべき点等	
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	姉妹都市・友好都市との友好関係を維持し、交流を図ることは必要ではあるが、まずはお互いの市をよく知ってもらうことが重要と考える。引き続き、市ホームページ等において効果的な情報発信を行いつつ、交流事業については、継続的に実施が可能な団体交流の実施など、各種団体や関係都市との調整を図りながら、効果的な事業の構築を検討すべきと考える。	

【外部評価】

外部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	

【改善の方向性・スケジュールと改善実施にあたっての課題】

改善の方向性・スケジュール	
---------------	--